

「日本郵政公社職員による当社への恐喝未遂事件」について

3月7日、「日本郵政公社職員による当社への恐喝未遂事件」について、警察当局および日本郵政公社より発表がございました。

本件は、日本郵政公社職員が、その業務上の立場を利用し、当社関連会社に作成を求めた取引データをもとに当社へ恐喝を行なったものです。

逮捕された日本郵政公社職員は外部の第三者に取引データが漏洩したように装い、当社を恐喝しましたが、実際には第三者は存在せず、社外へのデータの漏洩はないと認識しております。

加えて、恐喝に使用された取引データは『カタカナ氏名』および『郵便貯金口座の記号番号の一部』のみの極めて限定的なものであり、「住所」、「電話番号」、「生年月日」等個人を特定できるデータが含まれていないことから、お客さまへのアクセスはできず、悪用は不可能なものと認識しております。

お客さまをはじめ、関係各位のみなさまにご心配をお掛けし、誠に恐縮に存じますが、事情ご理解賜り、ご安心くださいますようお願い申し上げます。

※ご参考：郵政公社ホームページ

http://www.japanpost.jp/pressrelease/s03/kawase/050307_03301.html